

小金井三宅島友好協会会報 [第50号]



発行日/令和3年2月1日 編集発行者/会長 稲葉 孝彦

関 綾二郎 書



会報第50号の発行にあたって

小金井三宅島友好協会会長 稲葉 孝彦

青い空、蒼い海、そして緑の島、それが三宅島です。

小金井市は、その三宅村と唯一の友好都市盟約を締結し43年、大きく友好の輪を広げてきました。

その民間外交を推進してきた本会の機関紙『さくらとあじさい』も号を重ね、今回第50号の大きな節目を迎えました。

三宅島においては観光振興の推進を目的に「三宅村千本さくら」の植樹事業を旧三七山スポーツ公園を中心に進めています。これは、本会が小金井ロータリークラブとの協力で、三宅村の「三宅村友好・交流協会」と連携しての事業です。数年後の春には、三宅島が小金井公園を思わせる桜の園に変わっていくことを期待しています。

小金井市も東小金井駅北口の区画整理の公園に、三宅島のあじさいの植栽で応えたいものです。

三宅島のシンボルである雄山が噴火以来立ち入りが制限されていて

ました。令和2年4月から、地域の環境や生活文化に影響を与えず、火山や噴火を知ること等を目的に登山ガイドを伴っての「エコツーリズム」を開始する計画でしたが、コロナ禍の影響で延期になったのは残念でした。本年4月のスタートを願っています。

三宅島を一周する都道は山手線とほぼ同程度の30数キロメートルで、私は日程に余裕のある時は一日かけて徒歩で島を一周することにしています。車では気付かない絶景など、新たな発見を歩くことで会うこともあります。

私の好きなスポットのひとつは、三池浜から見るサタドー岬です。市長室に、三宅島出身で日本芸術員会員の平松讓画伯から盟約20周年を記念して寄贈された絵画「磯伝い」が飾られています。ここに描かれているのがサタドー岬で、見慣れた風景なのです。

市長室に、三宅島出身で日本芸術員会員の平松讓画伯から盟約20周年を記念して寄贈された絵画「磯伝い」が飾られています。ここに描かれているのがサタドー岬で、見慣れた風景なのです。

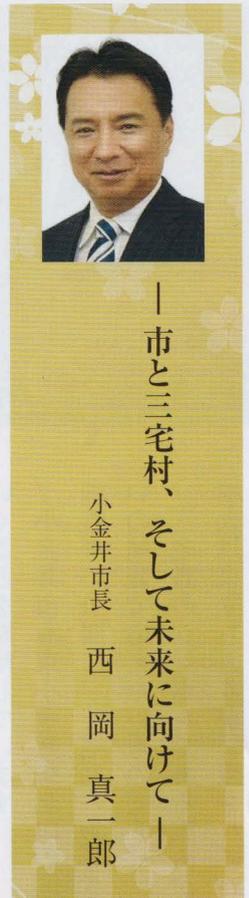
本年度は、さらなる三宅村との友好・親善の促進を祈念して「小金井三宅島友好音頭」のCDを作成しました。

これは当会の常任理事である桂雄二郎さんが両自治体の友好の歴史を作詞し、作曲したものです。新型コロナウイルス感染拡大が進む中、多くの事業が延伸、中止になるなど厳しい状況ですが、令和3年も三宅村との友好・親善が一層進展するよう、力を合わせて頑張りましょう。

市長室に掲揚

平松讓画伯「磯伝い」





―市と三宅村、そして未来に向けて―

小金井市長 西岡 真二郎

この度、貴協会会報「さくらとあじさい」が、記念すべき第50号の発刊を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

貴協会は、昭和51年に発足した小金井市三宅島保養所建設推進会を前身として昭和54年に発足され、以降、三宅村と小金井市の相互交流を盛んにし、理解と親善を深めるさまざまな民間外交を展開していただいておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

令和2年は新型コロナウイルスの影響により、貴協会の活動に大きな影響があった年でした。

本市においても多くの事業が中止される中、毎年、市内の小学生が三宅島を訪問し、島の小学生との交流を深める青少年自然・文化体験交流事業も中止を余儀なくされ、また、「なかよし市民まつり」も中止となり、三宅村との交流に

大きな影響がある一年でした。

三宅村においても、新型コロナウイルスの影響で各種イベントの中止や観光客への来島自粛要請を行うなど、非常に厳しい状況となっていました。

更には、令和2年10月、台風14号の豪雨による三宅村内での土砂崩れ等の被害が発生し、三宅村の皆様には、多くのご苦労があったものと思います。

現在は、少しずつ元の情勢に戻りつつありますが、引き続き新型コロナウイルス感染症は予断を許さない状況です。

こうした厳しい情勢のもと、貴協会は、令和2年2月には三宅島との友好を祈念して、武蔵小金井駅南口ロータリーに続き東小金井駅北口ロータリーにも薄紅桜を植樹していただきました。

また、令和2年11月に開催され

た「こがねい産業応援祭り」では、小金井三宅島友好協会のブースを出店され、三宅島の物産の紹介、販売にご尽力いただきました。

こうした貴協会の地道な活動が新型コロナウイルス感染症の影響を受ける市内や三宅村の皆様への力強い応援となっていたことは言を俟ちません。

ウイズコロナといわれ、市民の暮らしや交流の在り方など、大きな変化が予想される状況における新しい生活様式を考えていく中で、今後、貴協会と力を合わせて三宅村との相互の交流を盛んにし、理解と親善を更に深めていくためにはどうしたらよいかを考えていきたいと思えます。

結びとして、昭和54年の創立以来、小金井と三宅島の友好交流を力強く進めてこられた貴協会の皆様のご尽力に対し、この場をお借りいたしまして改めて感謝申し上げます。本市と三宅村の友好の絆をますます深めていくことを祈念してご挨拶とさせていただきます。



たまには
のんびり
島じかん。

調布空港からたったの50分。のんびり **三宅島**

(一社)三宅島観光協会 04994-5-1144



これからの三宅村と小金井市

三宅村長 櫻田昭正

小金井三宅島友好協会会報「さくらとあじさい」第50号の発行、誠におめでとございます。

小金井三宅島友好協会の皆様には、平素より小金井市と三宅村の更なる友好関係の推進にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、私こと、昨年2月に行われた三宅村長選挙で平成24年から引き続き3期目となる三宅村政の重責を担うことになりました。「島に育ち、島に生き未来につなぐ三宅島」心ひとつに三宅の創造」を合言葉に、誰もが島に育ち島に生きることを誇りに思えるよう、焦らず、弛まず着実に、全身全霊をもって職務に当たって参る所存でございます。

小金井市と三宅村との交流につきましては、前職である教育長時代から関わらせていただいております。これまでも、「青少年自然・文化体験交流事業in三宅」において、小金井市の小学生が三宅島に来島され自然観察のほか、シーカヤックやバーベキューなどを通じて、本村の子供たちと友情と交流を深めながら島ならではの様々な



©ONESTORY

三宅島雄山頂上付近

体験していただきました。また、「小金井なかよし市民まつり」や「三宅島産業祭」では、互いの特産品のコーナーを設置するなど、これまでの交流を礎にして大きな共有財産になっていると感じております。今後とも、ヒトとモノ両面において交流を盛んにし、相互の理解と親善の促進に寄与してまいりますと存じます。

困難になりました。このような状況の中でも、小金井三宅島友好協会の皆様には、「小金井三宅島友好音頭」を作成していただきましたこと、心より感謝申し上げます。また、新しい日常を模索する中で、小金井市長とリモート対談を行い、小金井小次郎に始まる「きずな」の強さを改めて確認することが出来ました。これまで長きに亘り友好交流を活発に行うことができたことは、互いを思いやり、人と人との「きずな」を大切に育んできた結果だと思えます。この「きずな」があればこの難局を乗り越えてこれからも友好交流を更に深めることができるかと確信しております。

今後、島では、「三宅島エコツーリズム」の実施を予定しています。自然に配慮した安全な利用を図るためのルールを定め、万が一に備え利用者はガスマスクを携行し、自然ガイドが同行しながら、普段は入れない雄山のふもと付近から頂上にかけて散策することが出来ます。荒々しい火山と再生の進む緑の風景の対比を楽しんでいただけるかと考えております。

まずは、一日も早くこの感染症が収束して、小金井三宅島友好協会の皆様はもとより、小金井市民の皆様と三宅島でお会いできる日を楽しみにしています。

小金井市内の賑わいづくりと町おこしの交流拠点

一般社団法人 小金井市観光まちおこし協会

KOGANEI CITY KANKO MACHIOKOSHI ASSOCIATION

「イベント情報」や「おすすめ観光スポット」など小金井市内の魅力をもっと詳しくご紹介します。まち歩きや桜の開花情報など、旬の話題も盛りだくさん。観光の前にぜひチェックしてみてください。

小金井市イメージキャラクター こきんちゃんグッズ 販売店です。

<http://koganei-kanko.jp/>
TEL : 042-316-3980

LIVE KOGANEI! TOKYO JAPAN

小金井市観光まちおこし協会 検索

第50号特集

小金井三宅島友好協会の歩み

―創刊号からの歴史を振り返る―

小金井三宅島友好協会は、昭和54年6月3日に発足し、会報「さくらとあじさい」は創立5周年を機に、昭和60年1月1日に創刊号が発行されました。

協会の発足（設立に向けて）

昭和44年、小金井市から「さくら」が昭和51年、三宅村から「がくあじさい」の交換植栽から始まりました。

この植栽に関わった「みどりの監視員」の方々が、昭和51年6月に三宅島を訪問し、島の自然やがくあじさいの状況の観察、村民の方々との交流が始まりました。この進展の中で当協会の設立の機運が高まりました。

昭和51年11月13日（1976年）

三宅島に市民保養所を作りたいとの意向を受け「小金井三宅島保養所建設推進会発足（会長皆木繁宏）

昭和53年10月1日

市政20周年記念式典挙行、小金井市三宅村友好都市盟約締結・調印。

10月7日

三宅村にて小金井市・三宅村友好都市盟約締結記念式典に市長ならびに推進会代表出席。

昭和54年6月3日

小金井三宅島友好協会 発足

（会長皆木繁宏）

保養所建設推進会を発展的に解消。

昭和57年3月26日

三宅村立三宅中学校へ、とべらもっこくの苗木150本を寄贈。

5月1日

皆木繁宏会長退任。関綾二郎会長就任。

昭和58年1月31日

三宅村に「三宅村友好・交流協会」発足（会長大沼良三）

10月3日

三宅島雄山噴火

11月4日

会長・役員数名が三宅村に噴火見舞で訪問。義援金を村役場に届ける。

昭和59年4月1〜3日

春休み親子と子の自然教室実施。阿古小中学校に桜15本寄贈植樹。以後、三宅島への旅復活。

昭和60年1月1日

会報「さくらとあじさい」創刊。

昭和63年10月1日

友好都市盟約締結10周年。

平成7年9月18日

台風12号により三宅島被災。

11月21〜23日

秋の旅で「産業まつり」に参加の際、村役場に義援金を届ける。

平成10年10月1日

友好都市盟約締結20周年

11月21〜23日

盟約締結20周年記念とし、産業祭の旅に合わせ、三宅村役場前に「銀杏」を植樹。

平成12年6月25日（2000年）

三宅島雄山噴火。

7月24日

稲葉市長等と役員、島内状況視察及び見舞。

8月29日

三宅島雄山大規模噴火。

募金活動開始。武蔵小金井駅等

で街頭募金・市庁舎・市内金融機関に「三宅島復興支援募金箱」設置。随時三宅村役場に届ける。

9月1日

全島民避難指示。

9月4日

村の学童全員が避難している都立秋川高校での始業式に合わせ、役員が激励に訪問。

10月14〜15日

「市民まつり」の小金井公園会場に、避難中の三宅村民のふれあい広場を設置。

平成13年4月6〜8日

小金井公園「桜まつり」会場に同様のふれあい広場を設置。（平成16年4月まで継続）。

平成15年・16年

三宅村民の清里等への慰安旅行の実施。

平成17年1月15日

「新春帰島の集い」開催。三宅村民4年半の避難生活の労をねぎらうと共に復興へ向けて激励。

2月1日

三宅村長はじめ村民の第一陣帰島を稲葉市長共々、多くの会員が竹芝桟橋で船を見送る。

平成18年2月1日

三宅村村制50周年並びに帰島一

周年記念式典。村より感謝状を受けける。

三宅島の旅復活（初夏・夏の自然教室・晩秋の旅実施）。

平成20年10月1日

友好都市盟約締結30周年、市制50周年で記念式典を挙げる。

平成23年1月7日

武蔵小金井駅南口交通広場に、

三宅村友好・交流協会理事上松幸男氏寄贈による、友好都市盟約締結30周年記念碑「友好の碑」

建立の鋳入れを行う。

4月5日

建碑落成記念式典挙行。三宅村関係者・市関係者・協会会員の出席により除幕式。

平成24年7月20日

「友好の碑」前に、三宅村友好・交流協会より寄贈された「がくあじさい」を植栽。

平成25年6月7日

関綾二郎会長退任（名誉会長就任）。神島瑛子副会長が会長就任。

平成26年1月18日

会報「さくらとあじさい」第43号の紙面カラー化。

平成27年8月12～16日

市民交流センター（現宮地楽器ホール）で帰島10周年パネル展。

平成28年10月18日

東京小金井ロータリークラブより三宅島にて「550本桜植樹（5年間）寄贈事業」開始。神

着湯船グラウンドに第一本目の苗の鋳入れ。

平成29年5月9日

神島瑛子会長退任（相談役就任）。稲葉孝彦会長就任。

10月15日

「市民まつり」へ来訪の三宅村の皆さんに、バスで市内観光・歴史散策。

12月18日

前会長故関綾二郎氏御子息関昭彦氏より、当友好協会へ寄付金。

平成30年2月1日

会報「さくらとあじさい」47号紙面より、B5判サイズからA4判16ページ構成に改定。

10月1日

友好都市盟約締結40周年。

10月7日

40周年記念として「三宅島案内銘板」を武蔵小金井駅南口交通広場に建立・除幕式挙行。

12月8日

三宅村友好・交流協会へ桜の苗木180本寄贈。

平成31年2月14日

「友好の碑」左横に「小金井薄

「紅桜」記念植樹。

3月18日

三宅村友好・交流協会主催植樹式に役員参加（旧三七山スポーツ公園）

令和元年度諸事業（2019年）

左記の通り令和2年2月まで、順調に実施した。

3月 小金井桜まつり

5月 定期総会

6月 初夏の旅

10月 お月見のつどい

10月 なかよし市民まつり

11月 小金井市農業祭

11月 三宅島晩秋の旅

令和2年1月 新春のつどい

2月 会報「さくらとあじさい」第49号発行。

令和2年3月10日

東小金井駅北口交通広場開設記念として三宅村との友好発展の為「小金井薄紅桜5本」を寄贈し植樹。

※この後新型コロナウイルスのため、ほとんどの事業が中止に追い込まれた。

8月30日

「小金井三宅島友好音頭」CD完成。（桂理事作詞・作曲・歌）関係者や会員全員に広く配布。

その後、踊りも完成。

10月28～30日

稲葉会長、福平副会長が三宅村訪問。台風14号の被災による見舞をかね情報交換と同時に親交も深めCD60枚を各団体に手渡す。

11月7～8日

「こがねい産業応援祭り」で三宅島の物産品を武蔵小金井駅南口ロータリー歩道上にて販売。

年間継続事業計画

- ① 三宅島物産販売コーナー
・桜まつり・お月見のつどい・市民まつり・農業祭
- ② 旅
・初夏の旅（あじさい祭等）
・晩秋の旅（産業祭参加等）
- ・関連事業計画
- ③ 新春のつどい
- ④ 随時実施事業
・春休み親と子の自然教室の旅
・夏休み親と子の自然教室の旅
- ⑤ スポーツによる交流支援・協力
・家庭婦人バレーボール
・親善野球大会（社会人チーム）
・子供会野球チーム
・ソフトボール（中高年チーム）
・ソフトボール（婦人チーム）
・剣道（小・中学生）

友好協会の活動への思いをここに

「和」の心に託して

神島 璞子

会報第50号の発行に当り「継続は力なり」と申しますが、よく続いたものだと感無量でございます。

発行のきっかけは、協会創立5周年目の昭和59年度理事会の折、故湯瀬源一さんや故前田邦彦さん等が、「記録として会報を出したら」との一声が総意となり、会報名は「さくらとあじさい」に、文字は関綾二郎会長に委ねることにしました。

その後、事務局を私が引継ぎ、あじさい祭りの旅の際、会報について話題になると、西川至さんが「お手伝いしましょうか」と声かけがあり、その時のスタイルが今もそのまま使われており、喜んでおられます。

私も大勢の方々の御支援ご協力に深く敬意と感謝を申し上げます。

友好の名に相応しい「和」のあじさいの会報が、永続することを願っています。

旅の思い出は感動の再現なり

秋葉 欽司

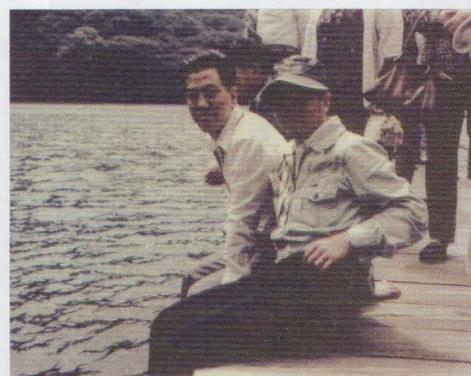
協会の機関紙として一回も欠けること無く刊行されています。

今日まで「三宅島への旅」に参加された皆様からその時の思い出の紀行文をお寄せ頂いております。昨年11月で第79回目の旅となりました。その時々々の状況下で多くの方々に三宅島の思いを寄稿して頂き、その内容から情景と深い友好の絆や歴史を思い浮かべることが出来ました。

昭和54年、小金井商工会員有志で参加した時、紺碧の水をたたえた新漣池。親友の岩崎順ちゃんと大路池丸太棧橋で肩を組んで撮った写真。河部商工会会長



昭和54年 新漣池



昭和54年 順ちゃんと大路池にて

の観光ホテル玄関前での姿などを昭和60年会報創刊号に寄稿した思い出があります。

「親子の自然教室」等ではくさやを初めて食べ、これが食べものかとびっくりした事。雄山山頂まで四時間半かかってやっと登り着いた感激。昭和61年11月、秋の三宅島郷土芸能祭には34名の一行が参加。特産のあしたば、里芋など数々の手料理に舌鼓を打ちつつ、郷土芸能を堪能しました。

関係の方々の挨拶文も大切ですがより多くの小金井市民が三宅島の旅に参加し、三宅島を知って頂く事が何より友好の絆を深める要となるものと思います。

友好協会活動への思いをここに

本間 紀行

さくらとあじさいの交換植栽から始まった三宅村と本協会との交流と共に本誌が第50号発行を迎えたことに、その長い歴史と育んできた友好を改めて感じます。

私は本号より活動歴も浅いですが、私の中で三宅島の大きな記憶といえば2000年にTVに映し出された大噴火の光景と、避難のため島民が足早に船に乗り込む緊迫のシーンであり、避難生活に苦勞されている姿です。その後、当協会の縁で三宅島に初訪島した際に目にした被災の爪痕である荒涼とした溶岩原に圧倒されました。反面、自然美溢れる島独特の情景と、親切におもてなしをして下さる村民の多くの方々に心を打たれて、今日に至ります。

この記念号発行を機に、交流と友好のヒストリーを胸に刻みつつ、また新たな交流のページを増やしながら、更なる友好親善と島の発展を願っています。



小金井駅南口交通広場
三宅島案内銘板裏

桜の美島、三宅島

福平 良全

私は小金井三宅島友好協会に入会してはや十数年となり、一人でも多く小金井市民に三宅島を知ってもらい、また三宅島の方々にも小金井を知っていただこうと啓蒙活動を続けています。

その為に「小金井なかよし市民まつり」や「小金井桜まつり」などで三宅島の物産品を販売し、美味しい食材を通じて三宅島を知ってもらいたいです。

また他の活動として「1000本桜植栽事業」にも力を入れています。今まで三宅島には桜の苗木を数百本送り、すくすくと成長、これからも苗木を送る計画をしています。

小金井は桜、三宅島はガクアジサイがあり花を通じてより一層の親睦と交流を深め、お互いの発展と絆を大切にしていきます。



東小金井駅北口交通広場に桜の記念植樹

— 新駅の歴史に触れて —

秋葉 欽司

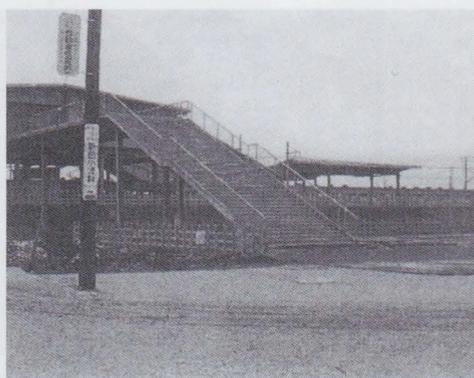
駅前に桜を植えてあることはよくあることです。「日本の心」イコール「桜」とよく言います。

昭和30年代に入り、武蔵小金井駅と武蔵境駅の間あたりに地元住民から新駅建設の要望がありました。

昭和32年当時の国鉄からは地元で建設用地と工事資金を調達すれば、が条件でした。新駅設置促進会組織の名のもとに地元熱意と総意で駅用地2〜3千坪と寄付金、1億円以上の拠出により、昭和39年に東小金井駅が誕生。当時私は神田に住んでいましたが、小金井緑町内に僅かな土地を有していた関係で設置促進会より寄附要請があり、二度に亘り計10万円を提供しました。後に自宅を建て緑町に引越して来ました。

畑の中にポツンと駅舎とプラットフォームが完成し北の方に第三小

学校の木造校舎が見えるだけの寂しい風景でした。



開業当時の東小金井駅

時代と共に文化芸術スポーツ等社会教育面での市民の実生活も向上、南北に広がる自然の恩恵があり、教育的にもレベルの高い環境が構築されたと思っています。

平成23年に現在の新駅舎にモデル替えし、昨年5月に北口交通広場の第一期工事が完了。式典はコロナの影響で中止となりましたが広

場中央に本年3月記念として小金井薄紅桜5本を寄贈植樹しました。小金井三宅島友好協会はさくらとあじさいをメインにして交流が始まったことから意義あるものと思います。

今後第二期の工事の中には三宅島特産のガクアジサイを植栽したく思っております。

三宅島との友好都市盟約に基づきさらなる深い絆で手を組んで参ります。



令和2年 東小金井駅北口広場 薄紅桜5本植樹

定期総会

今年是世界中に新型コロナウイルスの感染が広まり、コロナ禍の報道が繰り返される状況下で政府は4月27日「緊急事態宣言」を発令しました。

これを踏まえて市では、市の補助金支給団体が実施するイベント、行事及び会議については、原則中止又は、延期の対応を要請致しました。

令和2年5月15日金曜日に予定されていた第44期定期総会は、集會による総会審議を取りやめ、書面による賛否確認とさせて頂きました。

「書面承諾書」の結果、会員総数200名中、第一号から第四号議案まで全て「書面議事承諾」賛成117名 否0名の結果となりました。

従って全議案については賛成多数で、原案通り承認されました。

令和元年度 事業報告

■桜まつり「小金井公園」

3月30日～31日

■平成30年度会計監査

4月26日

レストラン「葦」

■第43期 定期総会

5月19日

前原集会施設

懇親会

5月19日

■初夏の旅

5月31日～6月2日

三宅島

19名参加

■お月見のつどい「小金井公園」

10月5日～6日

■なかよし市民まつり「小金井公園」

10月19日～20日

懇親会「萌え木ホール」

■農業祭

11月9日～10日

宮地楽器ホール横

■晩秋の旅

11月15日～17日

三宅島

17名参加

■新春のつどい

1月16日

レストラン「葦」

■「さくらとあじさい」第49号発行

2月1日 800部

■三宅村友好・交流協会へ桜

100本寄贈「三宅島植樹地」

2月15日

■東小金井駅北口広場開設記念

小金井薄紅桜5本植樹

東小金井駅北口広場

2月27日

■常任理事会・理事会

レストラン葦、他

9回



こがねい産業応援祭り



武蔵小金井駅南口 記念碑「友」

親しい方への贈り物には
郷土銘菓をご利用ください。

地方発送も承っております。

和洋菓子のお店
亀屋本店

武蔵小金井駅南口南一番街店 ☎042-385-8181

商工会は

行きます 聞きます 提案します

- 事業資金の推せん・斡せん
- 記帳や決算、税金のご相談
- 労働保険等労務相談

事業者と共に歩み、地域社会を豊かにする組織です

小金井市商工会

TEL: 042-381-8765 FAX: 042-382-8585

令和元年度決算報告書

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

歳入の部

単位：円

歳出の部

単位：円

項目	予算額	決算額	備考
繰越金	6,482	6,482	
年会費	180,000	164,000	
助成金	900,000	900,000	
事業収入	2,710,000	2,855,607	桜まつり・市民まつり・農業祭 他
寄付金	100,000	226,800	さくらとあじさい広告収入・東京小金井ロータリークラブからの寄付金 他
雑収入	3,518	1	銀行利息 他
計	3,900,000	4,152,890	

項目	予算額	決算額	備考
会議費	150,000	104,225	総会・役員会・理事会 他
事務費	250,000	238,907	資料印刷代・通信費 他
友好親善費	3,100,000	3,470,815	交流費・市民まつり・交通費 他
会報発行費	250,000	231,440	さくらとあじさい49号
渉外費	30,000	0	
借入金返済費	100,000	100,000	
雑費	10,000	0	
予備費	10,000	0	
計	3,900,000	4,145,387	
次年度繰越し		7,503	

特別会計

寄付金¥804,106 - 記念植樹代¥193,380 + 返済金¥100,000 + 利息¥7 = 残高¥710,733

令和2年3月31日

上記の通り決算報告を致します。

会長 稲葉孝彦 ㊟
 会計 星野伸之 ㊟
 会計 八木澤弘子 ㊟

令和2年4月20日

上記の通り監査結果が適正であることを認めます。

監査 山口暁彦 ㊟
 監査 大久保佐一郎 ㊟

令和2年度事業計画

実施年月日	事業名	実施場所
令和2年3月28～29日 4月20日 5月 6月 10月 11月 12月	小金井桜まつり参加 三宅島物産販売 (中止) 令和元年度会計監査 (第44期) 令和2年度定期総会 (書面回答による) 市民三宅島初夏の旅 (中止) (第48回) なかよし市民まつり参加 三宅島物産販売 小金井市農業祭参加 三宅島物産販売 (第80回) 市民三宅島晩秋の旅 (農業祭出席) 継続事業 (4回目) 島へ桜苗木 100本贈呈	小金井公園 小金井公園 宮地楽器ホール前 三宅島 三宅島へ
令和3年1月 2月 3月	新春のつどい 会報「さくらとあじさい」第50号発行 小金井桜まつり参加 三宅島物産販売	レストラン「葦」 小金井公園
その他：* 定例理事役員会・会員増強 (随時) * 東小金井駅北口 (仮) 1号公園へ三宅島特産のがくあじさい植栽の推進 * 武蔵小金井駅南口再開発広場での新イベントへの対応、小金井市と三宅村の一層の友好を深めるために、 (仮称) 小金井三宅島友好音頭の作詞・作曲を進める。		

◎特記

新型コロナウイルスにより3月以降の行事は全て中止とする。

令和2年度予算

歳入の部

単位：円

歳出の部

単位：円

項目	予算	備考
繰越金	7,503	
年会費	180,000	
助成金	900,000	
事業収入	2,100,000	桜まつり・市民まつり・農業祭 他
寄付金	130,000	さくらとあじさい広告収入 他
繰入金	280,000	特別会計から繰入れ
雑収入	2,497	銀行利子 他
計	3,600,000	

項目	予算	備考
会議費	150,000	総会・役員会・理事会 他
事務費	250,000	通信費・資料印刷代 他
友好親善費	2,600,000	交流費・市民まつり・交通費 他
会報発行費	250,000	さくらとあじさい50号
CD等制作費	280,000	小金井三宅島友好音頭 (仮称) (編曲・CD制作 他)
渉外費	30,000	
雑費	10,000	
予備費	30,000	
計	3,600,000	

特別会計

単位：円

項目	予算	備考
寄付金	430,733	一般会計繰出し (710,733円 - 280,000円)

これからの三宅村と小金井市

三宅村友好・交流協会会長 上松 幸男

小金井三宅島友好協会会報「さくらとあじさい」第50号の発行、誠におめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、日頃から三宅村との友好、交流活動の推進・発展のために、日々ご尽力いただき心から感謝申し上げます。

今年「小金井三宅島友好音頭」の作成に取り組まれ、去る10月28日には稲葉会長・福平副会長が完成の報告に来島されました。

親しみのある歌詞や覚えやすいメロディ、素晴らしい歌声に、今後両市村の友好関係が一層ゆるぎないものとなることを確信いたしました。

三宅村友好・交流協会でも行事や地域のお祭りなどで活用していきたいと思えます。

三宅島では、島で生活するものとして、新型コロナウイルスに「感染しない、持ち込まない」ために、島全体で新しい日常に取り組んで

いるところです。

また、緊急事態宣言解除後、都道府県をまたいだ移動自粛も解除となり、6月下旬頃から徐々に観光客の方々で島にも賑わいが出てきました。

「ウィズコロナ」という新しいステージを迎え、今までの「自粛」から「自衛」へと大きく対応が変わった現在、医療環境が非常に限られた離島である三宅島では、来島さ



大路池のアカガシラサギ



新造船さるびあ丸

れる方々と私たち島民が一体となった感染防止対策が重要となります。三宅島観光協会でも、島民や観光客の皆さまをウイルスから守るため、「ご来島のガイドライン」を作成し、来島されるすべての方にご理解の上で、三宅島に来ていただく取り組みを行っております。

豊かな自然に囲まれた三宅島では、釣り・ダイビング等のマリンスポーツのほか、バードウォッチング、サイクリング、ボルダリングなど陸上のアクティビティを楽しむことができます。

これからは、ご来島される方々においても新しい生活様式に沿った旅のスタイルを実践していただきながら、季節ごとに移り変わる三宅島の美しく雄大な自然をぜひ体感していただきたいと思えます。

あなたの街の便利屋さん

お気軽にお問合せください

TEL 042-538-2585

MAIL info@team-bright.com

Bright 株式会社ブライト

total clean service [営業時間：9時～18時]

〒190-0031 東京都立川市砂川町 6-43-22

つくば観光交通株式会社

・年中無休 ・24時間営業

サンキュー無線

一般タクシー TEL 042-388-0039

のご用命は (寝台)

車いすタクシー TEL 042-360-8989

のご用命は

ライフサポートサービス TEL 042-381-5004

始めました

美味しい郷土料理紹介

三宅村商工会女性部部長 沖山厚子

私たちの住む三宅島は、黒潮の恵みもたらす海の幸、火山島ならではの水はけの良い火山灰土壌によって甘い野菜や果物が育つ食材の宝庫です。

島で採れる食材の中には独特の味や香りのするもの、とても珍味なもの、苦いけれどおつな味のするものなど、見た目やにおいとはうらはらに意外に美味しく食べられるものなど、季節によってさまざまな食材を楽しむことができます。

春には春の食材を、秋には秋の食材と、『食』を通じて季節を感じることで、毎年変わらぬ島の恵みを味わえることは、最高の贅沢だと思っております。

是非、三宅島へお越しください。三宅島でしか味わえない逸品をお届けいたします。

また商工会女性部では地域、観光振興の一助として三宅島の明日葉をたっぷり使用した「あしたば

炊きこみごはんの素」「三宅島のあしたばカレー」を企画開発し販売をスタートさせ、おかげさまで三宅島を代表するお土産品として定着いたしました。炊きこみごはんの素は餅米をまぜておこわ風

に、カレーは魚のソテーやあしたば天ぷらにつけて食べても美味しいです。島外では東京愛らんどシヨップ(竹芝棧橋ターミナル内)で購入できます。

たくさんある島の郷土料理からいくつかをご紹介します。



三宅漬とあしたば炊きこみごはんの素

◎あしたばとくさやのマヨネーズ和え ※くさやをツナ缶にして
も良い。

- ① あしたばは、多めの熱湯に塩少々入れ、茎の方を1〜2分茹でてから葉を一緒に茹でる。
- ② 茹で上がり後、冷水に浸してあく抜きをし、水を切り、食べやすい大きさに切る。
- ③ ②とくさやのちぎりを「マヨネーズで和える。(酒の肴にはからしを溶いて入れて入れると良い。



- ◎島のりと磯ぶきの炒め物
- ① 新芽のやわらかい磯ぶきを大きめの平らな器に並べ、沸騰したお湯をたっぷりかけ、10分〜15分くらい浸しておく。
- ② ふきが軟らかくなったところを上から皮(スジ)をむき、5〜6センチに切り、水の中に入れてあく抜きをする。
- ③ 熱したフライパンに油を入れ、水切りした磯ぶきを入れてよく炒める。
- ④ ③に適量の砂糖、醤油、みりんやや多めのだし汁を入れてよく炒める。
- ⑤ 火を止める間際に島のりをに入れて磯ぶきに絡ませる。



- ◎島めじこロッケ ※商工会女性部で考案したレシピになります。
- ① キメジマグロの身と塩を鍋に入れ、身が浸る程度サラダ油を注ぎ煮る。火が通ったら冷まし身をほぐす。(ツナフレックのできあがり。冷めると魚臭さがでるので塩は少し強めにすると良い)
- ② ①と茹でてつぶしたじゃがいも、細かく刻んだあしたばをまぜ合わせコロッケ型に成形し、小麦粉、卵、パン粉の順に衣をつける。
- ③ 揚げ油で②を揚げる。

三宅島のパッションフルーツ

前田 洋一



「すっぱい!!」、パッションフルーツを初めて食べた時の感想でした。全島避難が解除になって2年後に島に戻って、島しょセンター三宅事業所に農業の勉強をするつもりでお世話になり、そこで初めて出会いました。野菜・花卉・果樹と色々教えていただき、5年後に栽培で一人立ちする事になりました。品種は「台農一号」で収量が多く糖度が16〜18度もあります。酸味が強い為なかなか甘味を理解してくれませんでした。が最近では甘味があり濃厚で美味しいと言ってくださるお客様が増えてきました。6軒の農家と部会を立ち上げ、他産地を参考に栽培技術の向上を図り、良い品質の物を作ろうと皆で努力してきました。個々に収穫量を増やしながらお



パッションフルーツの花



ハウスの中の様子

お客様も増やし、それぞれが生活の基盤としてパッションフルーツの生産に取り組んでいます。今年中止になりましたが4年程前より7月の中旬に行われている、小金井ファーマーズマーケットの感謝祭に出店させていただいておりまして、小金井の皆様にはパッションフルーツを知っていただくようになりしました。最初は「名前は聞いた事はあるけど見た事がない」とか「初めて食べた」など多くの方が初めて対面する果物でした。自分用に入る方や友人知人に送る方など年々購入する方が増えて来て、中には電話かFAXで注文して下さい方もいて大変うれしく思っています。

他府県の方の中には収穫前から

問い合わせの連絡を下さる方もおり、現在では北は北海道から南は九州まで注文をいただいております。



ファーマーズマーケットでの「販売」

私自身忙しい時は一週間に3日しか眠る事が出来なかったり、3日間全く眠れなかったり、3日作業をして夜はお客様への発送準備をしなければならず大変です。又、夏場のハウス内の作業なので暑さとの戦いです。全て上を向いた作業で受粉・収穫等3月末頃から8月末くらいまで続きます。

でも、お客様からの「美味しかったよ」とか「また来年もお願いします」と言っていたけると頑張っています。作って良かったと毎年終わりに思っています。東京都GAP・

東京都エコ農産物の認証を取得し、安心して皆様に食べていただけるようになりました。又、チャンスがあれば小金井の皆様へ食べていただきたいと思っております。是非、三宅島のパッションフルーツをよろしく願っています。



家周りの設営一式【ご提案から工事まで】
植栽造園・エクステリア・タイル・レンガ等

株式会社
秋葉タイル工業所

〒184-0003 東京都小金井市緑町1-2-37
TEL 042-381-9016 FAX 042-384-9956

住居まわりの環境をお手伝い!

お任せください。
庭づくり

空気調和・衛生設備設計施工・保守管理

ムサシノアロー
株式会社

本社 〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目21-23
TEL 042-382-0111 FAX 042-384-2155

工事部 〒184-0004 東京都小金井市本町4丁目15-13
TEL 042-382-0358 FAX 042-385-3451

小金井三宅島友好音頭完成

桂 雄二郎



ある時、ふと思ったのです。

「三宅島は小金井市が唯一結んでいる友好都市だけど、何故そういう関係になったのか歴史的な経緯を知っている市民は、どれだけいるだろうか？もし、それらも盛り込んだ歌詞が出来て、市民が歌え三宅島の人も一緒に歌えたら、どんなに楽しいだろう！出来れば、それに踊りも付けば：。」と。

そこで先ず「小金井小次郎伝」（皆木繁宏著、発行小金井新聞社）を読み返すと共に、三宅島の自然の特色を拾い集めて、リズムある歌詞作りをしました。すると、どうしたにか曲想も湧き出てきたのです。不思議ですが本当です。

それが去年の十一月。何気なく作りたくて作った曲でしたが、この機関紙編集委員会の席上「歌を作ったんだけど」と話すと同座に「じゃ、歌ってみて！」との反応。歌詞カードを配り、臆面を見せず

歌ってみると「いいじゃない！今の理事会にかけてみたら？」と。一月の理事会でも同様に、CDにしようじゃないか！となった訳です。

その後は、仲間の紹介で小金井市観光大使のYOYOさんと知り合い、コロナ騒動に巻き込まれて中断されながら、すべてのレコーディングが終了したのは六月末。ジャケット・デザインにも細かな注文をつけ、CDとして完成したのが八月末。小金井新聞に大きく取り上げられたり、J・c・o mのインタビューを受けて放映されたり、市報にも掲載と嬉しい反応でした。

現在は、「踊り」も完成しました。市民まつりや盆踊りなどで広く親しんでもらえるよう、また三宅島の人達にも広く歌って踊ってもらえるよう努力しているところです。三年後・五年後十年後に、年

中行事の一つとして、この友好が一層深まれば、この上ない喜びとと思っています。どうか皆様の力でこの歌と踊りを育てていただければと願っています。

小金井三宅島友好音頭

作詞作曲・歌：桂 雄二郎
編曲：YoYo(SOFFet)

- 一 小金井小次郎で縁結び ソレ
三宅に流され 十二年
水の苦勞に 立ち上がり ソレ
小次郎井戸を 造ったよ ソレ
鳥人みんな バンバンザイ エイオー
- 二 雄山は今なお噴火山 ソレ
大人になるたび 繰り返す
それでもみんな 負けないぞ ソレ
小金井市民は 応援団 ソレ
海も山も バンバンザイ エイオー
- 三 昭和五十三年に ソレ
友好都市の 盟約を
結んでずっと 仲良しさ ソレ
何度も訪れ 助け合う
アカコッコ海亀 バンバンザイ エイオー
- 四 さくらとあじさいはシンボルだ ソレ
小金井校が 鳥で咲く
がくあじさいは 駅前で ソレ
ぐんぐんのびて 花盛り
市民も村民も バンバンザイ エイオー
- 五 安政三年（一八五六）は江戸時代 ソレ
あれから早くも 百六十年
埋もれた校舎に 涙して ソレ
芽を吹く緑に 泣ける
荒波前に 涙して ソレ
沈む夕陽に 泣ける
溶岩やがて 実りの地 ソレ
黒潮流れる 海越えて 交流 さあさあ
進めさあさあ エイオー エイ
エイオーエイオー エイエイオー
エイオーソレ



太鼓・笛・鐘の演奏者の皆さんと



合いの手を入れた皆さんと

- 1 小金井三宅島友好音頭
- 2 小金井三宅島友好音頭～男&女 Vocal～version
- 3 小金井三宅島友好音頭～Karaoke～
- 4 小金井三宅島友好音頭～A Cappella～
- 5 小金井三宅島友好音頭～Piano～version

歌：桂雄二郎、武智美鈴、太鼓：澤崎琢磨、笛：深見真弓、鐘：澤崎佳代
合いの手：荒木比佐子、八木澤弘子 and All Stars
All Other Instruments & Programming: YoYo(SOFFet)
Recorded, Mixed & Mastered at Studio IROHA NOTE
Art Work Illustration: Haruna Inuyama Design: Mitohi Direction: YoYo(SOFFet)



© 2020 小金井三宅島友好音頭



「小金井三宅島友好音頭」

作品完成を迎えて

小金井観光大使 Yoyo (SOFfeT)



小金井と三宅島の友好都市盟約40周年、記念すべきタイミンングに心よりお祝い申し上げます。

「小金井三宅島友好音頭」の編曲・楽曲制作を担わせて頂きました。YOYO (SOFfeT) です。顔合わせの制作ミーティングで聞かせて頂いた、小型ボイスレコーダーに収録された桂雄二郎さんのアカペラの歌には一番、五番まであり、自身初の作詞・作曲にして完成されたメロディー展開でした。

リズムや節回しの捉え方、普段自分がなかなか触れる事のない音頭の編曲作業は、とても興味深いものでした。楽曲のバックトラックを作る編曲作業は、方向性がいくつも考えられますが、話をすればする程、良い物作りへの情熱が増してしまう桂さんとのやり取り。人間味と温もり溢れる生

音を収録すべく、メンバーを集めてスタジオにて太鼓・笛・鐘のレコーディングを行い、他皆様の合の手やコーラスも入り、オリジナルバージョンに加えて男性&女性ボーカルバージョンやピアノバージョン等、全5トラックが収録されるという聴き応えのあるCD音源が完成しました。

さらにオリジナルジャケット絵や歌詞カード、譜面までセットにした作品に。

これまでの歴史を物語る見事な歌詞。そしてこんな風に「歴史や軌跡を楽曲に刻む」という何より素敵な音楽の形と音楽愛を感じ、自分も制作物全てにこだわりながら、有意義な制作の時間を過ごさせて頂きました。

現実、予期せぬコロナの影響を受け、半年を経ての長期制作期間で言わば数倍にも熟成した楽曲に

仕上がったような実感です。

小金井文化の代表の一つとも言える「阿波踊り」の要素も融合するような楽曲をラストパートに思いを込め……。いつかこの音頭に振り付けが付き、三宅島の波音が聞こえる中、集まって合唱して踊る姿を……夢見ずにはいられますん！

歴史ある小金井と三宅島の友好盟約、その一部に音楽面で携わることができ、小金井観光大使の名を授かり活動中の今、大変光栄な制作の機会となりました。

是非この作品を沢山の皆さんに手にして頂き、細部までお楽しみ頂きたいものです。

世代を超えて受け継がれてゆく小金井と三宅島の絆、この音頭



CDジャケット

で、さらなる温度で!!手を取り合って心をつなげて頂きますように……。

それでは皆さんも一緒に……ソレ!!!



収録風景

こがねい産業応援祭りに 寄せて

細井 久恵

今年唯一の行事が11月7日(土)

8日(日)の二日間「こがねい産業応援祭り」で、武蔵小金井駅南口ロータリー歩道上を会場に行われました。新型コロナウイルスの影響により、当初予定されていたものよりも規模を縮小しての開催となりましたが、「来て・見て・食べて」小金井発見!!」のタイトルのもと26店舗等が参加し、多くの人が集まりました。

友好協会もその一角に出店し、三宅島の物産を販売致しました。ブースでは、今年度作成された「小金井三宅島友好音頭」のCDの曲が流れ、その音色が秋風に乗って辺りに和やかな雰囲気を出してくれました。物産の販売は思っていた以上の賑わいで、牛乳せんべい・岩のり・焼酎等の他に、今年初めて出品したてんぐさ・椿油・ドラゴンフルーツ・ゆず・ドラセナの花もご好評をいただきました。根強い人気の一杯百円「お

湯割焼酎」は、このような状況下でご提供できなかったことは唯一残念でしたが、二日目3時には出品した品物が完売という形で終了することができました。

ブースに足を運び応援してくださった方々とは、3密にならないよう気を配りながらマスク越しの対面となりましたが、皆様の温かい眼差しが印象的でした。

今年度は、三宅島への旅や市民まつり参加等の事業が中止となり、三宅島の方々と交流できる機会も減ってしまいました。今年度は、それらの事業と共に、更なる賑わいが見られるようになることを、心から願っております。



アカコッコ
細井さん子息 4年生時の絵

「皆さ〜ん

三宅島のことを沢山知ろうよ」

「ふるさと三宅村村民制度」を知ってますか！主催は三宅村地域活性化協議会で三宅村商工会が事業主体となり運営をされている事業です。

有効期限は二年間(更新可能)で年会費は一万円(ただし、二年分を申し込み時に納入)。

募集は二年に一度(次期募集は今年の七月から)誰でも登録ができて「三宅村民」として沢山の特典を得ることが出来ます。

一、年二回、三宅村の特産品の送付提供。

一、三宅村に関する定期的な情報の提供(広報等)。

一、東海汽船定期船「東京〜三宅島間」全乗船券の割引(家族に限り四名まで) 20%。事前予約が必要。

一、宿泊費10%の割引。三宅島観光協会事前予約により家族四名まで可能)。

一番大事な「ふるさと三宅村民」として役割があります。

(1) 三宅村を心のふるさととして愛し続ける。

(2) 三宅村に興味を持ち続ける。

(3) 三宅村の宣伝をする。

(4) 三宅村とのつながりを大事にする。

(5) 三宅村の発展に関するアドバイスをする。

(6) 三宅村への訪島をする。

(7) 三宅村への支援をする。

皆さん「ふるさと三宅村民証」を頂き「ふるさと三宅村民」になりましょう。

問い合わせ先

一、三宅村商工会

〇四九四二一三三八一

一、三宅島観光協会

〇四九九四一五一一四四

一、東海汽船予約センター

〇三二五四七二一九九九

役員紹介

- 会長 稲葉 孝彦
- 副会長 秋葉 欽司(事業)
- 福平 良全(事業)
- 本間 紀行(渉外)
- 会計 八木澤 弘子
- 星野 伸之
- 常任理事 島村 靖(総務)
- 桂 雄二郎(会報)
- 会計監査 大久保 佐一郎
- 山口 暁彦
- 相談役 神島 瑛子
- 理事 荒木 比佐子
- 梅村 照子
- 大久保 ととき子
- 斉藤 勝子
- 斉藤 浩
- 都築 トヨ子
- 萩原 和子(事務局)
- 信山 重広
- 福沢 政雄
- 岩崎 謙治
- 細井 久恵

新会員紹介

(令和2年1月~12月まで)

- 田中 勉
- 三咲 順子

新会員募集中!

三宅島年間行事予定

- ①ドルフィンスイムツアー(3月~11月)
- ②ハードアイランドフェスティバル(4月~6月)
- ③キャンプ場OPEN(4月~10月)
- ④ぐるっと三宅島一周バードウォッチング(5月)
- ⑤春のフィッシュウォッチング(6月)
- ⑥ウミガメ調査隊になろう(6月)
- ⑦三宅島マリンスコーレ21(7月)
- ⑧富賀大祭(8月)
- ⑨盆踊り(各地区)(8月)
- ⑩夜の森観察会(8月)
- ⑪大路池ガイドウォーク(9月)
- ⑫三宅島鳥コンツァー(9月)
- ⑬秋のフィッシュウォッチング(9月)
- ⑭大路池スポーツ水鳥観察会(10月・11月)
- ⑮W E R I D E 三宅島エンデュアレース(11月)
- ⑯三宅島産業祭(11月)
- ⑰三宅島G F O ノルディック・ウォーク(12月・2月・3月)
- ⑱船祝(各地区)(1月)
- ⑲節分祭(2月)
- ⑳三宅島ポルダリング大会(2月)

編集後記

新型コロナウイルスで世界は一変した。「移動の自由」「集まる自由」「対話の自由」この3点の「人間らしさ」が失われた、と京大大学総長で霊長類学者の山極寿一が述べている。

昨年一年を象徴する漢字は「密」と言う。密閉・密集・密接の3密回避は常識となった。クラスター・フェイスシールド・コロナ太りなどの言葉も耳新しく残った。学校やお店が突然臨時休校・休業に追い込まれ、遠隔授業やテレワークも続いた。同時に解雇や失業者・退学者も激増し、生活困窮者が溢れた。オリンピック・パラリンピックも延期したが、果たして実施出来るのだろうか？

何か明るいニュースは? 「山手線に新駅誕生、高輪ゲートウェイ」はやぶさ2が6年ぶりに52億キロを無事帰還」「2050年、CO₂排出実質ゼロを目指す」などか?

平凡な日常や平凡な毎日の続くことが、どれほど素晴らしく貴重であるか、昨年ほど痛感したことはない。

(記・桂)

編集委員 荒木、桂、萩原、八木澤、山口

住まいの事なら本間不動産へ

そろそろ1人暮らしがしたいなあ。

子供のためにも、庭付きの家を探そうか?

駅に近くて便利なマンションに住み替えようか?

賃貸・売買 仲介・管理 内外装リフォーム 新築工事 相続対策 資産活用

株式会社 本間不動産

東京都知事免許(8)第52872号
ホームページ <http://www.e-honma.com>
お気軽にご相談下さい **Tel.042-381-6863 (代)**
小金井市本町5-19-1

携帯サイトはこちら

当社案内図



小金井三宅島友好協会

事務局 萩原

〒一八四一〇〇一三

小金井市前原町四一七一三二

☎〇四二一三〇一一二二五五

